

# ブース展示

開催日時：9月19日(水) 10:00 ~ 9月20日(木) 13:50  
開催会場：3階・レセプションホール

## カクタス・コミュニケーションズ株式会社

カクタス・コミュニケーションズは、大学の国際ブランディング、海外広報をより戦略的に行うためのコンサルティング・サービスをご提供しております。海外大学とのネットワークと広範な研究分野の知識を活かし、大学の強みをブランド化するための戦略プランニング、研究成果のアウトリーチ活動支援、留学生・海外研究者リクルートのための広報支援など様々なソリューションをご提供します。ブースでアンケートにお答えいただいた方にはささやかなギフトをご用意しております。ぜひお立ち寄りください。

## 株式会社フォルテ

科学技術分野の翻訳・英文校正で30年の実績！  
東京の校正会社フォルテが、今回初めてRA協議会にブース出展いたします。  
研究力強化を促進し、国際的発信力を高めることを目的とした包括的言語支援をご提供しています。  
若手、女性、外国人研究者、学生の方向け各種サポートもご提案しています。  
また、ブースではご好評をいただいているセミナーの様子も上映！  
是非、お気軽にフォルテブースにお立ち寄りください。

## クラリベイト・アナリティクス

【進化するクラリベイトの研究分析ツールが 皆様の研究活動を支援します】  
学部別・研究グループ別・研究分野別の研究管理・戦略をサポートする、新しい「My Organization」をご紹介します。  
更に見やすく、使いやすくなった「InCites Benchmarking」の新機能を、会場で実際にお試し頂けます。  
また、「研究分析サービス」や、機関のレピュテーションを向上させる「研究者向けメールサービス」など、具体的な事例もご用意してお待ちしております。

## ワイリー・ジャパン株式会社

若手研究者や学生が論文をスムーズに執筆・出版できるよう、良質で総合的なトレーニングを提供することは、多くの大学にとって課題となっています。今回ご紹介するWiley Researcher Academy (WRA) は、そのために開発されたEラーニング教材です。Wileyの世界的ネットワークから選ばれたジャーナル編集者や専門家による充実したプログラムに基づき、各人が自分のペースで学習を進められます。この機会にブースでデモをご覧ください。

## 株式会社タイムインターメディア

Microsoft 社の Dynamics CRM をベースとした、「URA 支援システム:RAport(ラポート)」をご紹介します。  
RAportは、URA室業務と研究者をサポートするURA専用システムです。  
URA室業務のサポート機能として、研究者情報、研究管理、科研費管理、申請業務、研究者との面談予約管理、研究者同士のつながり管理などが可能な仕組みを持ち、研究者のサポート機能として研究者へのお知らせ、URA 室との双方の連絡、研究業績の更新などを可能とした「研究者ポータル」の仕組みを持ったWebシステムです。  
本セッションでは、RAportのベースになっている顧客管理システム(Dynamics CRM)の特徴も交えながら、RAportを使ったURA活動の効率化を提案します。  
また、実際に某国立大学様に導入した活用事例やデモ画面を通してご紹介させていただきます。

# ブース展示

開催日時：9月19日(水) 10:00 ~ 9月20日(木) 13:50  
開催会場：3階・レセプションホール

## エナゴ(国際化支援)

エナゴは、大学・研究機関の国際化を言語面からサポートしています。英文ネイティブチェック・翻訳サービスをはじめ、英語論文執筆・英語プレゼンセミナー等に関するご相談も承っております。皆様の大学・研究機関における国際化の課題を、お気軽にご相談ください。ブースではオリジナルグッズも配布しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

## EDANZ GROUP JAPAN 株式会社

1995年創業のエダンズグループ(本社 福岡市)は、世界中の研究者、研究機関及び欧米大手学術出版社に英文校正、研究論文の査読支援、メディカル・コミュニケーション、研究倫理を含む教育サービスを提供するリーディングカンパニーです。エダンズグループは「Helping Scientists Succeed」をミッションに掲げ、世界の科学研究コミュニティをサポートしています。

エダンズには、現在300名以上の専門家が校正者として所属しています。エダンズの校正者はすべて英語を母国語とするネイティブであり、PhDを所有、あるいは専門分野での豊富な研究経験や校正歴を有しています。皆様からお預かりした原稿は、社内でシニアエディターにより精読後、原稿の研究内容に最も適した校正者に校正を依頼することにより、ジャーナルへの採用率の向上をサポートいたします。